

ハワイアンクラブ

東京都市大学の軽音楽サークルの
中で、最も多くの部員を擁する
「ハワイアンクラブ」。経験者も
初心者も分け隔てなく迎える彼らは、
音楽をピュアに楽しんでいます。

都市生活学部
都市生活学科 4年
宇多蒼月さん

部長

情報工学部
知能情報工学科 3年
野崎貴也さん

情報工学部
知能情報工学科 3年
野田周吾さん

人間科学部
児童学科 4年
桑子あす夏さん

次期部長

情報工学部
知能情報工学科 2年
中 康輝さん

本学有数の大所帯サークルだからこそ活発な交流が強み

ハワイアンクラブは50年以上の歴史を誇る、東京都市大学の軽音楽サークルです。名前の由来は「サークルができた当時の音楽の流行が、ハワイアンミュージックだったから」と聞かれています」と部長の野崎さん。現在ではジャンルを問わず幅広い音楽を愛好する部員たちが在籍し、バンド活動を楽しんでいます。

特色として皆が口を揃えるのが、所属人数の多さ。世田谷キャンパスの学生を中心に、100人超の部員が在籍するのは本学音楽系サークルでは随一。他ジャンルのサークルを含めても、最大級の大所帯といえます。

「大学へ入学する前からハワイアンクラブに入ろうと思っていた」という2年生の中さんは、「ツイッターやインスタグラムなど

のSNSで活動を知りました。規模も大きいし楽しそうだなと思って」と入部の決め手を語ります。3年生の野田さんも入部した理由に人数を挙げ、「せっかくバンド活動をするならモテたいじゃないですか(笑)。ハワイアンクラブだったら異性もたくさんいるかな?」と思って入りました。全然モテている感じはしないですが」と冗談めかして笑います。

楽器経験のある上級者から、これから音楽活動を始めたい初心者まで、様々な人が一堂に会するのも大所帯のハワイアンクラブならではの。入部前に「楽器はできませんけど、本当に大丈夫ですか?と聞いたら“だったらボーカルやりなよ”と言われて入部しました」(桑子さん)という人もいるように、代々続く“Welcome”な雰囲気が、会を広げているようです。



新入生に向けた勧誘イベント「スプリングフェスティバル」にて。



コロナ禍前に開催されたバンドフェスティバル。学生たちが大いに盛り上がっていました。